

2019年度 和歌山市立雑賀崎小学校スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 奥村 孝 作成日 2019年 5月13日

和歌山市学校教育目標

- ・確かな学力の育成
- ・道徳教育の充実
- ・健やかな体の育成
- ・特別支援教育の充実
- ・不登校・いじめ問題の解消
- ・子供の安全確保の徹底
- ・地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 故郷を愛し、誇りに思えるように育ててほしい。
- 読解力の向上に努めてほしい。読書習慣の醸成に取り組んでほしい。
- 中学校で戸惑わずに済むような授業も設定してほしい。

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心を持ち、たくましく生きる、知・徳・体の調和のとれた子供を育成する。

【めざす児童（生徒）像】

- ・考える子
- ・なかよくする子
- ・はたらく子
- ・たくましい子

前年度の学校評価

- 学校・家庭・地域の連携がより一層進んだ。幼小連携での相乗効果に驚く。
- 児童が「学校が楽しい」「一所懸命掃除を行う」等のアンケートでの児童の回答は大変評価できる。
- 学んだことを色々な人に訊いてもらう取組はよいアイデアだ。

児童（生徒）の実態

- 挨拶ができる子供が多い。
- 決まりを守って行動できる子供が多い。
- 日頃から上級生は幼稚園児を含め年下の子供の面倒をよく見る等、人に親切である。
- 大変まじめである。
- 読書習慣の有無が両極端である。

重点目標

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎幼小連携・接続の推進、中学校との連携。（近隣高校との連携）
- 地域の支援「ひと、もの、こと」の活用推進

豊かな心の育成

- ◎異年齢集団「つみき活動」の充実
- 体験活動「ほんもの体験」の充実
- 道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見

確かな学力の向上

- 関心・意欲・態度の向上
- 基礎学力向上
- 学習環境の整備
- ◎「学び合い」の授業改善
- ユニバーサルデザイン化

健やかな体の育成

- 体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

具体的な取組

- 学校日より及び学級日より等を定期的に発行する等を行い、学校の情報を積極的に発信する。
- 地域の活動に積極的に参加。各活動に準じ、めあてを持って参加。
- 幼小連携・接続の取組に雑賀崎の地域資源の活用を図る。
- 福祉、国際交流、景観、環境整備等、「ひと・もの・こと」等の地域資源を教科横断的に計画し活用する。

- 縦割り班活動「つみきグループ」での活動の機会をより増やし、異年齢での関わりの中でリーダーシップ、フォロワーシップを養う。
- 引き続き、児童発信の自主的な「学校をより良くする」諸集会の開催、児童間での話し合い活動を奨励する。
- 児童の規律ある話し合い活動を尊重し、折合いをつけられる力を養う。
- いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。

- 学力の向上
- ・学ぶことへの関心・意欲・態度の向上。
- ・基礎学力の向上
- ・学習環境の整備
- ・「学び合い」の授業改善
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- 校内研修と実践の充実
- ・積極的に研修に参加し、教員の資質向上を図る。
- ・一人一人の児童と向き合う環境づくりに努める。

- 休憩時間での外遊び推奨
- 県チャレンジランキングに参加
- 「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨
- 月1回「アウトメディアデー」を実施。家族の会話を増したり、読書の機会等として、テレビ・ゲーム・SNS等をしない日とする。
- 本校の地域性に合致した避難訓練や交通安全教室、救急救命教室等を計画的に実施し、危機回避能力を育成する。

指標

- 学校日より及び学級日より等の積極的発行。
- 学校日より地域版の毎月発行。
- 「学校の様子がよく分かった」（保護者90%）

- 集会活動の毎月実施。
- 幼稚園との交流を毎月実施。
- 「学校が楽しい」（児童90%）

- 学びの足アート展の2回開催。
- 全国学力学習状況調査及び県学習到達度調査での無回答〇を目指す。

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査等調査で県・市・全国平均を上回る。
- 「朝ごはんを食べている」（児童100%）

◎：特に重点的に取り組むこと